

## 王寺町

～人とまちがきらめく和（やわらぎ）のふるさと～

奈良盆地の西部に位置する王寺町は、古くから交通の要衝として恵まれた立地環境のもと西和地区の中核として発展してきました。2026年の町政施行100周年に向けて、豊かな自然や子育て施策の充実、歴史・文化の活用による観光振興など県内トップの「くらし満足度」を感じられるまちづくりに取り組んでいます。

### I 概要

#### 1. 地理と歴史

王寺町は奈良県の北西部、奈良盆地の西部に位置する人口24,043人（県内39市町村中16位）、世帯数10,031世帯（同15位）、面積7.01km<sup>2</sup>（同35位）の町である（総務省「国勢調査 人口等基本集計」（2020年））。同町は生駒山地と金剛山地の接点に位置し、町の中央には片岡山が、南西部には明神山がある。また北端には大和川が流れる水と緑の自然豊かな町である。

同町は聖徳太子が斑鳩で亡くなった後、ご遺体を磯長（大阪府太子町）の御廟まで運んだと言われる「太子葬送の道（太子道）」や聖徳太子の愛犬とされる雪丸の石造物のほか、飢人伝説（聖徳



町のマスコット「雪丸」

太子が飢人と出会い助けたという伝説）の残る達磨寺など、聖徳太子ゆかりの地としても多くの人に知られる。

同町は、飛鳥時代には大和と河内を結ぶ大和川の水路と龍田道の陸路が発達し、また1890年（明治23年）には県内で初めて鉄道が開通するなど交通の要衝として発展してきた。1960年代からは、こうした交通の利便性から大阪のベッドタウンとして住宅開発が進み、市街地が形成された。現在は、大阪と奈良を結ぶJR西日本の関西本線と和歌山線、近畿日本鉄道の生駒線と田原本線が結節した奈良県北西部的一大ターミナルとして発展し、ニュータウンの開発

や大規模商業施設の誘致により快適な住環境が整っている。

#### 2. 産業構造

従業地による就業者人口（15歳以上）の産業別割合を見ると、第1次産業が0.5%、第2次産業が15.0%、第3次産業が84.5%と、奈良県全体（順に3.4%、22.2%、74.4%）と比べて第1次・第2次産業の割合が低く、第3次産業の割合が高いという特徴がある。（総務省「国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計」（2015年））。

民営事業所数は857か所（県内15位）で従業者数は7,861人（同14位）である。（総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」（2016年））。

同町には聖徳太子ゆかりの寺である達磨寺や、隣の斑鳩町には世界遺産の法隆寺が所在するなど、聖徳太子ゆかりの場所が点在しており、主要産業である飲食業、小売業、宿泊業、交通事業者等、第3次産業を軸とした観光産業の育成に積極的に取り組んでいる。昨年4月には、生駒郡4町と大和郡山市、王寺町で構成する「WEST NARA広域観光推進協議会」が設立され、広域観光事業推進による域内経済の活性化を図っている。

### 王寺町の位置図



### 3. 人口構造

年齢階級別人口移動を見ると、男女共に20~24歳で転出超過となり、就職や進学に伴う影響が見られる。一方で30~34歳、35~39歳では、大幅な転入超過に転じ、結婚や住居の購入などのライフイベントが主な要因であると考えられる。(総務省「国勢調査 移動人口の男女・年齢等集計」(2015年))。

## II 町の活性化に向けた様々な取組み

### 1. 教育にかかる取組み

#### ○義務教育学校開校

社会全体が大きく変化する中、次代を担う子どもたちが確かな学力を育む場として、2022年4月、現在の3小学校と2中学校の5校を再編・整備した、町立の王寺北義務教育学校と王寺南義務教育学校の南北2校の義務教育学校\*が開校した。



王寺北義務教育学校の外観

\*1人の校長の下、原則として小中免許を併有した教員が9年間の一貫した教育を行う新たな学校。

児童生徒は9年間同じ校舎に通学することで、中学校進学の際に、新しい環境での学習や生活に不適応を起こす「中1ギャップ」と呼ばれる現象の緩和が期待される。さらに、9年間の一貫したカリキュラムによる学びの連続性を確保することで、小・中学校教員による相互乗り入れ授業の実施や異学年交流など子どもたちの豊かな人間性と社会性の育成に力を注いでいく。

両校とも教室の黒板にスライド式超短焦点型プロジェクターを備え付けるほか、図書館機能を持つメディアセンターの設置などICTを駆使した教育環境を整備し、さらに児童・生徒への1人1台のパソコン端末配布や次世代の通信規格にも対応できるよう高速大容量(10GB)の校内通信ネットワークを構築するなど、国が進めるGIGAスクール構想にも対応した最先端の設備を備えた学校として生まれ変わる。

このような教育環境の中で、町独自の特色ある教育にも取り組む。ふるさと王寺への理解と愛着を育む『「和(やわらぎ)」プロジェクト』や、英語教育の推進によるグローバル化への対応、プログラミング教育や個別最適化学習など、子どもたち一人ひとりの特性に応じた教育を通して、ふるさとに愛着や誇りを持ちつつ世界に通用する国際人としての力を身につける教育を目指している。

#### ○子育て支援策

町は、『育つ喜びと育てる喜びが実感できるまち』に向けて、誰もが安心して出産・子育てができるよう様々な取組みを進めている。

##### ①在園第2子に係る保育料の全額免除

国の施策として実施されている「幼児教育・保育の無償化\*」において、制度の対象とならない0歳から2歳児クラスまでの子どもを持つ子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。

\*2019年10月、内閣府により実施された。幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳から5歳児クラスの子どもたち、住民税非課税世帯の0歳から2歳児クラスまでの子どもたちの保育料が無料となる。

##### ②町立幼稚園での17時までの預かり保育など

保護者の子育て支援のため、町立幼稚園において教育時間終了後から17時までの間と、夏休み等の長期休業中に預かり保育を実施する。

##### ③義務教育学校開校に合わせた幼稚園での給食開始

新たな給食センターのもと、子どもたちが食べる喜びや楽しさ、食べ物への興味、関心を通じて、自ら進んで食べようとする気持ちを育む。また、町独自に栄養士1名を配置し食育の推進を図るとともに、食物アレルギーのある児童へも安全な給食を提供する。

##### ④小規模保育園の設置

2021年4月、JR王寺駅直結のショッピングセンター内にある旧南都銀行王寺支店の店舗を借り受け、町内初の小規模保育園を開設した。駅近くの立地ということもあり利用が進んでいる。

##### ⑤西和地域病児保育室「いちごルーム」の共同運営

保護者が仕事等により家庭で看護できない病児

や、病気の回復期の子どもを一時的に預かる施設であり、西和地域 5 町（三郷町・斑鳩町・平群町・上牧町・王寺町）が共同で西和医療センターの敷地内で運営している。

## ⑥不育治療費助成制度

妊娠しても流産や死産を繰り返す不育症の夫婦を対象に不育治療費助成制度として、上限 10 万円まで全額を補助する。

## ⑦産後ケア事業

出産後 1 年以内の母親と乳児を対象に、育児に不安がある時や親族等からのサポートが受けられず産後の日常生活が困難な場合、提携先の助産院に親子で滞在し産後の健康管理や育児に関する指導等を受けられるサービスを実施する。令和 4 年度からは、助産院に出向くことが困難な家庭に、助産師が自宅に訪問するサービスを開始する。

## ⑧図書館との連携

子どもの 4 か月児健診時、1 歳 6 か月児健診時にそれぞれ絵本をプレゼントする「ブックスタート」「ブックセカンド」の取組みのほか、図書の宅配サービス、年齢に合わせたおはなし会の開催など、子どもたちが本と触れ合う機会を創出している。

## 2. まちづくりへの取組み

### ○まちづくり基本条例の制定

同町は、社会の変化に対応し様々な課題を克服するためには、町民・議会・行政がそれぞれの役割を担いながら協働することが不可欠と考え、まちづくりの基本的なルールを定めた条例を制定した。「子どもがまちづくりに参画する権利」や「総合計画の策定・評価・検証への町民参画」などを特徴とし、住民と行政がシビックプライド\*を育みながら参画と協働に取り組んでいく姿勢が示されている。

\*「都市に対する住民の誇り」という意味で使われる。地域への愛着を示すだけでなく、地域を自らの手で、良くしていこうという当事者としての意識も含まれる。

### ○宿泊施設の誘致

同町では、2016 年度より王寺駅を基点とした観光振興による地域活性化に取り組んできた。特

に「達磨寺」や「明神山」など町内の観光資源の魅力化と県外への情報発信に力を注ぎ、日帰りではない周遊滞在型観光の推進を目指してきた。

このため王寺駅周辺への宿泊施設の誘致を図り、2020 年 8 月、同町初となるホテル『東横 INN 奈良王寺駅南口』がオープンし、これまで多くの人に利用されている。

今後も宿泊施設誘致による雇用の創出を図るとともに、多くの観光客が訪れることが期待される。



2020 年 8 月にオープンした  
「東横 INN 奈良王寺駅南口」

### ○女性の活躍推進「王寺ミラクル 100 事業」

2016 年、地域で私らしく働きたい！と考える女性と、こうした女性を応援する人たちによる「ミライをツクル 100 人会議」が開催された。この会議を機に同町は就職、結婚、妊娠、出産、子育てといったライフステージに応じた女性の就労・起業・地域貢献の機会の提供や、自立したコミュニティー作りの支援を目的とした様々な活動に取り組む「王寺ミラクル 100 事業」を展開している。主な活動としては、スキルアップのためのセミナーや交流会、マルシェの開催など幅広い分野にわたる。また、フリーランスで働くクラフト作家や店舗経営に興味のある人は、レンタルショーケースを使ってディスプレイや販売のノウハウを学ぶ場、「チャレンジショップ ichigo」を提供している。同事業の参加者の中には、カフェ経営やネット販売事業など自身の起業の夢を叶えた人もおり、町では、引き続き女性が地域や社会で活躍できる環境作りに取り組んでいる。



レンタルショーケース

### ○オリーブを新たな特産品に

2014 年、生まれ育った王寺町に貢献したいと新たな特産品の開発を模索していた町内在住の男

性が、単身でオリーブ栽培に取り組んだのが始まりである。同町の気候条件が瀬戸内海の小豆島に似て、オリーブ栽培に適していることに注目したもので、その後「奈良和園」<sup>やわらきえん</sup>を立ち上げ、自身の所有地や町有地に栽培するオリーブは現在計1,300本に上る。



信貴・生駒の風を受けて育つオリーブ  
信貴・生駒の風を受けて育つオリーブ  
興等に取り組んでいる。オリーブの実から搾油されたオイルは「大和のしづく」と名付けられ、2021年10月には奈良ホテル内のレストランで期間限定メニュー「飛鳥鍋御膳」に使用された。今後、同町の新たな特産品として、ふるさと納税の返礼品等に活用していくという。

2020年5月、同町、

「奈良和園」、大阪産業大学の3者間で連携協定を締結し、オリーブを活用した特  
産品の創出や産業振



オリーブオイル「大和のしづく」

#### 4. 観光振興にかかる取組み

##### ○全国だるまさんがころんだ選手権大会の開催

「全国だるまさんがころんだ選手権大会」の舞台となる達磨寺は、聖徳太子が飢人に姿を変えた



公式ガイドブック

達磨大師を助けた物語、片岡飢人伝説（日本書紀）を由緒として創建された。同大会は、日本で初めて達磨さんが転んだ（臥せっていた）と言われるこの場所で、子供から大人まで誰もが知る「だるまさんがころんだ」を競技化したもので、達磨の「七転び八起き」、聖徳太子の「和の精神」にちなみ、コロナ禍に苦しむ人々が再び立ち上がり、助け合うことを願い企画された。2021年11月



優勝者に贈られる「優勝だるフィー」

月に開催された第1回大会の参加者は、感染対策のため県内在住者に限られていたにもかかわらず、申し込みが殺到し、早期に定員に達した。次回は全国から参加を募る予定で、町のにぎわいの創出が期待される。

##### ○明神山ライブカメラとタイムスリップ・世界遺産トラベル

明神山（標高273.6m）は、登山道が舗装され、山頂まで40分ほどで登れることから、気軽にハイキングを楽しめると多くの人が訪れる。低山ながらもよく晴れた日には、山頂から大阪市の「あべのハルカス」や明石海峡大橋まで見渡すことができる。さらには360°に開けた眺望により、5エリアの世界遺産「古都奈良の文化財」「法隆寺地域の仏教建造物」「古都京都の文化財」「紀伊山地の霊場と参詣道」「百舌鳥・古市古墳群」を望むことができる。現在は、山頂にライブカメラが設置され、10分ごとに更新される5方向の画像をインターネット上で見ることができる。また新た



明神山山頂360°スポット

明神山山頂から見ることのできるスポットを紹介します。

なコンテンツとして、古代や近代の仮想空間の眺望をインターネット上に公開

する「明神山からタイムスリップ・世界遺産トラベル」が開始された。こうした工夫により、遠方や登山が困難で訪れる事のできない人でも気軽に同山の魅力に触れることができるようになった。

王寺町は、大手不動産会社が発表した「街の幸福度ランキング2021」において県内1位に選ばれるなど、住民による満足度の高いまちと言える。

平井康之町長は「住民と行政が共に課題解決に取り組む『協働のまちづくり』を推進し、住み続けたい、住んでみたいと思える『選ばれるまち』として今後も発展するよう質の高いまちづくりに取り組み、一層の発展を目指す」と語る。

（村井 渚、八木陽子）